

オイスカ in 四国

www.oisca-shikoku.org/

2018.April. **18**
vol.

大好 日本 の 食卓

No.10:ぎょうざ

手作りぎょうざ



四国研修センターに来てから、毎日違うメニューを食べています。どれもびっくりするほどおいしいですが、わたしが大好きなのは「焼きぎょうざ」です。センターのメニューで順番が来るのが待ちきれないので、センターの近くのお店にもよくぎょうざを食べに行きます。

お正月にホームステイをしたとき、ホームステイ先のお父さんと一緒にぎょうざを作りました。お父さんは皮の作り方から教えてくれました。皮の生地を作って、それを分けて、一つひとつのばして、それから具を包んで、作るは大変でしたが、とてもおいしいぎょうざができました。そのあと、センターでも皆と一緒に作りました。皆おいしいと言っていてたくさん食べてくれたので、うれしかったです。ぎょうざは肉だけではなくて、いろいろな野菜も入っているので健康的な食べ物だと思います。フィリピンでは、肉まんやシウマイはよく食べますが、ぎょうざはあまり食べません。センターで食品加工の研修をしていて、材料の準備、作る順番、気持ち、食べ方など、日本の食べものをおいしく食べる方法をたくさん勉強しています。ぎょうざももっともっと上手に作るようになって、フィリピンへ帰ったら家族に作ってあげたいです。



具だくさんでヘルシーなぎょうざは研修生に大人気



ノラさん(50)
フィリピン・ルバン出身
食品加工指導の研修をしています。他の研修生を心強くサポート、指導するお母さんの存在です。

オイスカの会員・支援者になって国際協力活動に参加しませんか?
OISCA オイスカが進める人材育成、海外開発協力、「子供の森」計画および啓発普及活動は、長期的な取り組みが必要です。継続的なご支援をお願いいたします。

今すぐできる支援の方法は5つ 無理なく続けられる方法をお選びください
■支援内容 支援に関する詳細は <http://www.oisca.org/support/> または下記問い合わせ先にご連絡ください

1 毎月の継続寄附	毎月500円でオイスカ活動をトータルにサポート。8月に年次報告書が届きます。 ●ワンコインサポーター……500円×12カ月 ※月々の自動引き落とし。 毎月2,000円からのオイスカ活動トータルサポート。月刊「OISCA」で活動の様子をご報告。 ●マンスリーサポーター……2,000円×12カ月 ※2,000円以上、任意(1,000円単位)の金額で月々の自動引き落とし。
2 自由な寄附	各種活動の推進のための寄附です。時期、金額(1,000円以上)、回数は自由で、支援する事業をお選びいただけます。 ●海外開発協力事業 ●「子供の森」計画事業 ●人材育成事業 ●啓発普及事業(国内の森づくりなど啓発普及全般) ●啓発普及事業(海岸林再生プロジェクト) ●トータルサポート ……1,000円~(いつでも何度でも) ※1,000円以上のお申込みで、金額は任意となります。
3 「子供の森」計画支援	年間1口5,000円で「子供の森」計画を支援してくださる方を募集。支援証、活動を伝えるニュースと現地の子どもたちからのグリーティングカードが届きます。 ●「子供の森」計画支援……5,000円/年
4 賛助会員	オイスカの活動に賛同し、ともに歩んでくださる方を募集。月刊「OISCA」で活動の様子をご報告。 ●維持会員……20,000円/年 ●特別会員……50,000円/年
5 集めて送る	自宅にいながら参加できるボランティアです。ベルマークは1点=1円で「子供の森」計画に、書き損じはがきは各種活動推進のために使われます。 ●ベルマーク ●書き損じはがき

問い合わせ先			
◆四国支部	〒760-0017	香川県高松市番町2-17-15 第二讃機ビル2F	TEL:087-821-1503
◇高松推進協議会	〒760-0017	香川県高松市番町2-17-15 第二讃機ビル2F	TEL:087-821-1503
◇坂出推進協議会	〒762-0011	香川県坂出市江尻町1721-10[(株)石井内]	TEL:0877-45-0141
◇三豊推進協議会	〒769-1502	香川県三豊市豊中町笠田笠岡3915-3[(株)イナダ内]	TEL:0875-56-6001
◇香川東推進協議会	〒769-2304	香川県さぬき市昭和5806	TEL:0879-52-5070
◇中讃推進協議会	〒763-0034	香川県丸亀市大手町3-2-1[四国電力(株)丸亀営業所内]	TEL:0877-22-5973
◇綾川推進協議会	〒761-2103	香川県綾歌郡綾川町陶5179-1[オイスカ四国研修センター内]	TEL:087-876-3333
◇徳島県推進協議会	〒770-8555	徳島県徳島市寺島本町東2-29[四国電力(株)徳島支店総務課内]	TEL:090-3181-0158
◇高知県推進協議会	〒780-0870	高知県高知市本町1-6-24[高知商工会議所総務部内]	TEL:088-875-1177
◆四国研修センター	〒761-2103	香川県綾歌郡綾川町陶5179-1	TEL:087-876-3333



設立25年を迎え更なる飛躍の年に
設立50年を迎えて四国研修センターの取組み



あなたも参加しませんか?オイスカサポートの輪

推進協議会の活動報告

◎香川東 ◎高松 ◎綾川 ◎三豊
◎坂出 ◎徳島県 ◎中讃 ◎高知県

No.10 ぎょうざ

四国研修センターでは、地域開発の視点から農業や調理、食品加工などを主体に海外の農村青年の人材育成事業を実施しております。ここでは多国籍の研修生が1〜2年間の共同生活を行っており、規律や協調性を身に付け、技術以外にも日常の中で自己啓発に努めることが出来ます。

また、全国的に技能実習生の受け入れが増加傾向にある中、四国研修センターでは、外部の監理団体や企業が実施する実習生の入国後に必須となっている日本語学習など、基礎研修の受託事業を準備しております。

毎年センターでは、研修生に日本語指導を行っており、職員が一丸となって日常生活の中でも日本語指導を行えるという観点からは、非常に得意分野となっています。また研修所兼宿舍となっているため、起床から就寝までほぼ一緒に生活しており、管理も同時に行うことができます。複数の国の研修生が暮らしているので会話は日本語



来日後すぐに日本語や規律訓練等を中心とした基礎研修をセンターで行い、各事業所での実習が始まります

外国人技能実習生の基礎研修受け入れ

で行い、加えて規則正しい生活習慣を身に付けることができます。

1〜2か月という短期間ですが、技能実習生の基礎研修を積極的に受け入れてまいります。関心のある監理団体や企業の方は、オイスカ四国研修センターまでお問い合わせ下さい。

オイスカヤングリーダーズ



テーマを決めてワークショップ。気付きや学びを深めます

設立して1年が過ぎましたが、オイスカの青年会組織であるオイスカヤングリーダーズ(以下OYL)の活動もこれから活発化していきます。今までイベントなどの活動が中心でしたがオイスカの将来を見据えて取り組んでいきたいと思えます。オイスカスタッフだけで業務を行うのではなく、香川県はじめ四国の青年達のエネルギーをうまく繋げて、地域貢献の柱にしていければと思います。このような組織づくりが地域開発を目指す研修生の学びにもなります。まだまだ規模も内容も充実しているとは言い難いですが、魅力ある組織づくりを見せていきたいと思えます。

オイスカ四国研修センター副所長 **矢野 耕平**

青年研修受け入れ



野菜の種まき中。農業体験を通じ食や生命について考えます

国内外から高校生や大学生など青年を受け入れ、国際協力やオイスカへの理解、農業や地域開発に繋がる研修を行っています。近年は、海外からも四国を訪れる観光客が増えており、外国人学生などへの各種視察・体験ツアーを企画して、将来の親日家育成や四国の活性化に貢献できればと考えています。日本人へは、外国人との共同生活や彼らのサポートなどを通じて国際感覚を養うとともに、日本について考え・学び直す機会を提供しています。

オイスカ四国研修センター所長 **小野 隆**



1:オイスカの最新情報や課題など協議する常任幹事会(毎月第一木曜日)
2:香川県知事と綾川町長を研修センターにお迎えして(平成29年8月22日)
3:オイスカ四国研修センター設立50周年記念式典(平成29年10月19日)



25th Anniversary

四国支部は平成5年4月に産声をあげました。従いまして本年度は25周年と云う大切な節目の年になります。この慶事を迎えられるのは申すまでもなく、佐藤忠義初代会長様始め諸先輩のご労苦の賜であります。改めて先人に感謝し、歴史に学んで参り、オイスカの発展に会員一同心をつにし、貢献する25年目の年にいたしたく存じます。四国支部の特徴の一つに毎月開催されます常任幹事会がございます。20数名の方が集い、議題1つ1つを熱心に議論し思いの丈を包み隠さず論ずることによって課題は解決し、次の議題に進む訳でございます。認識と情報の共有は更に深化し会員相互の絆も深まって参ります。毎回議題にあるのが各推進協議会の会員の増減であります。増えて喜び減ってへこむ、その繰り返しであり、会員増減は一喜一憂スリルのあるものであり、出席者全員次こそはと思う時でもあります。お陰様で会員各位のご尽力で毎年60名近くの増員を得て、目標といたしておりますが会員1000名の背中が見えて参りました。

続いて四国研修センターの活動報告と今後の予定がセンター所長より発表されます。次に各推進協議会会長より活動報告と今後の予定が発表されます。ドキッと



オイスカ憩いの森「山・林・SUN体験ボランティア」(毎年11月実施)



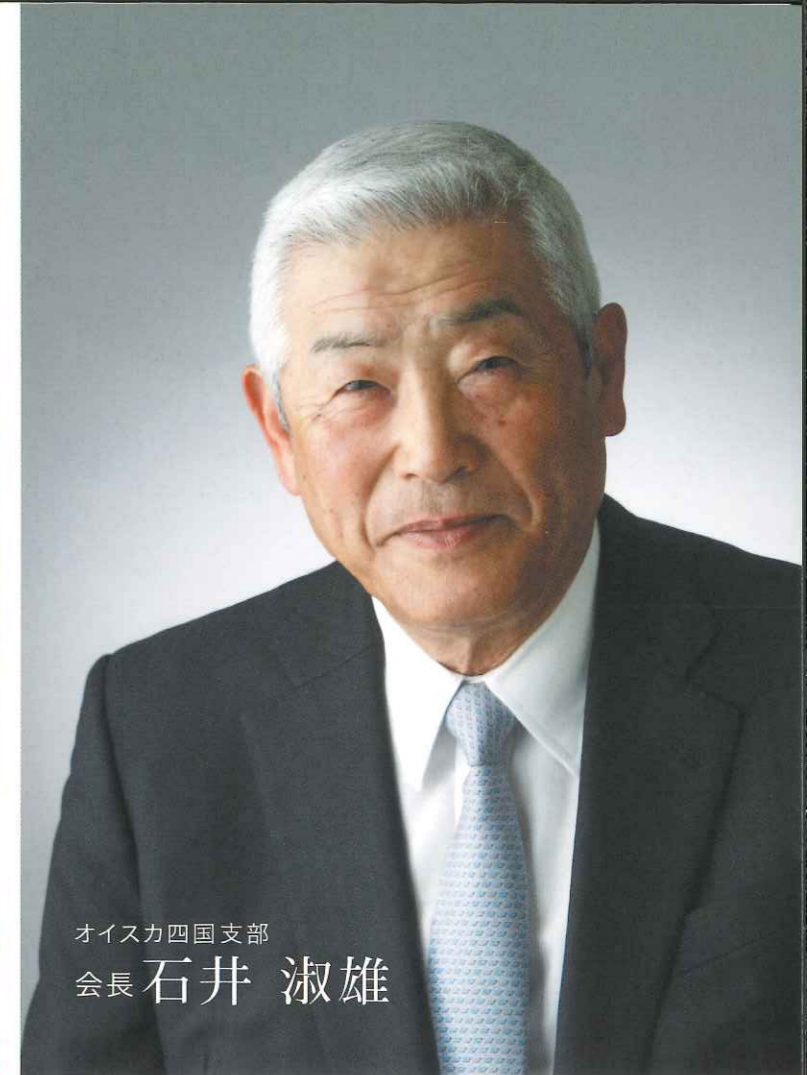
研修修了を祝い帰国後の活躍を祈った研修生歓送会(平成29年12月9日)

する報告は時としてありますが、レベルの高さにはいつも脱帽であり、天晴れがはるかに優っております。2時間の会議はあつという間に前向きな結論を得て拍手をもつて終了いたします。この常任幹事会は先人の歴史の踏襲であります。四国支部のエンジンとなっており、先人に感謝するのみであります。

25才青春真っ盛り、希望に満ち溢れた年であります。本年を冒頭に申し上げました先人に感謝し歴史に学び更なる飛躍の年にいたしたく存じます。結びに四国研修センターと四国支部は申すまでもなく車の両輪であります。研修センターの発展なくして四国支部の発展はありません。引き続き会員皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年度を迎えてのご挨拶といたします。

設立25年を迎え 更なる飛躍の年に

オイスカ四国支部
会長 **石井 淑雄**



香川—香川東

会長 富田 義雄

ミャンマーの農村を豊かにするプロジェクト

2月20日(火)ミャンマー国中部乾燥地帯のバコック県に、「ミャンマークロダ」社の手袋工場が完成しました。開業式典は晴天にも恵まれ、知事、村長ら行政の代表、工場関係者、地域の人々、日本からも11名が出席して盛大に執り行われました。式典は、工場入口においてのオープニングテープカットで



ミャンマークロダ社正門前で社員の皆さんと



始まり、参加者全員の掛け声で「ミャンマークロダ」の看板の除幕が行われました。また、日本からの出席者は参加できたことに感謝するとともに、会社の発展を祈念して各自一本の植樹をしました。その後、立派に完成した工場へ移動して式典は続けられました。

黒田俊英会長と「ミャンマーの農村を豊かにするプロジェクト」のお話をしてから6年の歳月が流れました。この長年に亘る黒田会長の熱意と関係者各位のご協力ご支援で工場が完成したことに感謝を申し上げます。



開業式典で地域社会との共生・発展を誓う黒田会長

香川—綾川

会長 大方 義裕

第6回収穫感謝祭

オイスカ綾川推進協議会では、昨年11月25日(土)に四国研修センターにおいて、収穫感謝祭を開催しました。この催しはセンターの秋の収穫が無事に終わったことを感謝して毎年開催しているものです。

研修生6名が12月に研修を修了して帰国するため、研修生の送別会も兼ねて開催し、



三好会員によるラバウル研修センター開設30周年行事ツアーの報告



会員29名と研修生やオイスカスタッフ、総勢45名の催しとなり、6名のアクションプランを中心としたスピーチの後で懇親会が行われました。

懇親会では、研修生が準備した各国の料理に舌鼓を打ちながら、研修生への励ましや交流が行われました。アトラクションでは、研修生による各国のダンスや会員によるオカリナ演奏等が披露され、全員が一体となって盛り上がり、意義深く収穫感謝祭を終了することができました。



会員によるオカリナ演奏とダンス

香川—高松

会長 泉 雅文

子供の心を育む活動〜「子供の森」計画

オイスカでは、研修生や技能実習生の受け入れを中心とした人材育成事業をはじめとする国際協力活動を行っていますが、高松推進協議会では、「子供の森」計画の支援を積極的に行なっております。特に、古本の回収は広く一般の方にもオイスカを身近に感じてもらえる活動の一つなので、地域のイベント



参加している学校の生徒だけではなく「地域の中心」である学校という拠点を活かし、「自然を愛する心」「緑を大切にする気持ち」を家族や地域住民へと広げていきます

等へ参加する際には広報活動に力を入れていきます。昨年度は、11月7日〜13日の一週間、高松市環境活動展に出展し、森のつみ木広場や植林活動、「子供の森」計画の写真パネル等の展示や資料配布等を行うとともに、古本回収ボックスを設置して協力を呼びかけました。

オイスカ全体では、昨年10月から12月までの三カ月間で79件八千冊を超える本が集まり、支援金は17万円以上になりました。一人でも多くの子ども達に「自然を愛する心」「緑を大切にする気持ち」が芽生えるよう、この活動に継続して取り組んでまいりますので、お知合いの方にお声掛けいただき、ご協力よろしくお願いたします。



36の国・地域の4,891の学校が参加しています(2017年3月末)



小さな善意の集まりが「子供の森」計画支援に

香川—三豊

副会長 片山 祐子

育ち合う研修生と日本の小学生

オイスカ研修生と小学生との交流活動に参加して「交流」のもつ可能性に目を開かされました。研修生にとって日本の小学生に自国の文化や暮らしを説明すること、また研修生としての日本での生活や研修内容を分かりやすく話すことは、自分の研修目的や使命を確認するチャンスになっていました。小学生にとつてまず、オイスカという国際的なボランティア団体や、それを



支えているスタッフを知りえたいと思います。国際的な仕事にも興味があったり、日本人のインターン生が参加したのでますます興味があったり、フィリピンやマレーシアという国を身近に感じられたとも思われます。現在、小学生は英語活動に取り組んでいます。英語を使ってみることも、理解してもらえ、これは嬉しい違いありません。研修生の母国の言葉を使つてのゲームも楽しめました。

オイスカ研修生との交流は互いに育ち合う場になることを実感できました。継続させていきたいものです。



観音寺市立豊田小学校6年生との交流授業

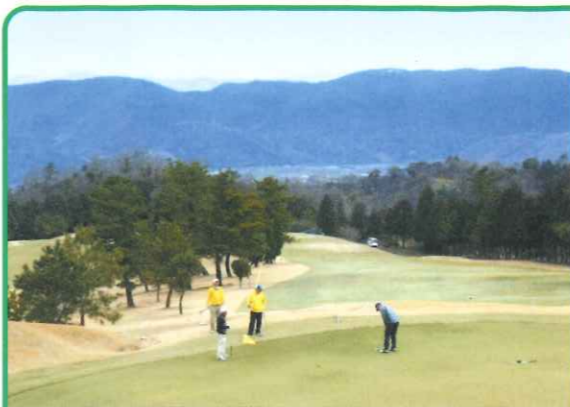


香川一坂出

会長 森崎 敏彦

楽しみながら広がるオイスカ支援の輪

四国支部の中でも、当協議会の会員は企業経営者が多いのが特徴です。遠いアジアの国々の発展について考える事は中々ありません。しかし、四国研修センターをはじめ海外の現場で真面目に頑張る研修生や職員を知れば知る程、応援をしなければと思えます。特に、昨年6月に宮崎博文前会長より会長職を受け継いでから精力的にオイスカの支援活動に参加しています。オイスカを知らない人に



瀬戸の町並を望みながらのプレーは気分爽快!(高松カントリー倶楽部)



知ってもらいたい共感していただき(?!), 輪を広げていく事は楽しいものです。今後も、春・秋の「四国のつどい」に多くの人を動員していきたいです。オイスカ支援の方法は多様に有りますが、馴染みの有るゴルフでチャリティする事が恒例になっています。きっかけはゴルフかもしれないが、これを機会に、色々な人達が様々な違いを乗り越えて共存する環境作りに貢献できればと思っています。そう感じていただける人を一人でも増やしていきたいです。



オイスカ富山県支部の荒木事務局長から寄贈いただいた銘酒

香川一中讃

会長 中野 百合子

国際ソロプチミストとの連携

毎年開催される国際ソロプチミスト丸亀のチャリティバザーに、オイスカ四国研修センターの研修生と職員、中讃推進協議会の会員で参加しております。昨年からは、ひまわりセンターに場所を変えての開催でしたが、天候に恵まれ、会場にエレベーターがあるので沢山の



大勢の方に来場いただき皆ニコリ。おもてなしの心を学びました

来場者で盛況でした。オイスカは、シフォンケーキ・クッキー・漬物・野菜・卵・工芸品の販売をしました。研修生には喫茶の方でお運びの初体験をしてみました。珍しい



民族衣装でのコーヒー&ケーキのサービスに、お客様はとても喜んでくださり、短期間で習得した日本語の上手さに驚かれました。五月の連休に開催される「丸亀お城まつり」は中讃推進協議会の最重要活動で、研修センターと丸亀・善通寺・ミドル香川のソロプチミスト会員と協力して、オイスカカラーと物品の販売を行います。今年で6年目を迎えます。今年で6年目を迎えます。オイスカカラーを楽しみに、保存容器やお鍋を持って買いに来て下さるお客様もいらして嬉しい限りです。中讃推進協議会もお陰様で会員100名を超える会となり益々気持ちを引き締め邁進する所存でございます。ご支援よろしく願っています。

徳島一徳島県

会長 岡田 典子

第10回オイスカ料理講習会を開催

2017年11月7日、女性部主催による恒例の「オイスカオイスカ料理講習会」をヨンドンプラザ徳島で開催いたしました。この行事も回を重ね、10回目となりました。

今回は、フィリピン出身のメイさんとマレーシア出身のアリンさんに講師をお願いしました。メイさんには、ヘルシーで栄養バランスの良い豚肉と野菜の煮込み料理を、アリンさんには、



参加者にはリピーターの方もいて楽しいひと時に



かぼちゃとココナツミルクを使ったクッキーとスフレの中間のような焼き菓子を教えてくださいました。

参加者の皆さんも、オイスカ料理を調理するのは初めてのため、温度や調理時間の設定に戸惑う場面も見られましたが、そこはさすが主婦。最後は、見事に美味しく調理に大变身。その後の試食会では、出来上がったばかりの料理に舌鼓をうちながら、参加者と研修生が親しく懇談して交流の輪を広げるとともに、オイスカの活動をPRしました。



研修生によるオイスカPRも兼ねた試食会

高知一高知県

会長 青木 章泰

「子供の森」計画 in 高知

オイスカ高知県推進協議会では、昨年10月13日に高知市内の幼稚園児や研修生と一緒に、幼稚園近くの山林に桜苗木の植樹を行いました。これは、オイスカが海外で実施している「子供の森」計画をご存じの園長先生から、園児に植樹を体験させたいとのご相談があり実現したもので、当日は少し汗ばむ陽気の中、四国研修センターの研修生6名と園児35名をはじめと



斜面のため汗をかきながらも、みんなで楽しく桜の苗木を植樹しました



する総勢65名で桜苗木の植樹と支柱への取付け・水やり作業を行いました。園児達は「いつ咲くが?」「何色の花なが?」など、早くも桜の開花を心待ちにしている様子でした。

高知県推進協議会では、このほかにも県内小学校の学校林へのおみじ苗木の植樹の手伝を通して、子供たちの「自然を愛する心」「緑を大切に作る気持ち」を育ていく活動を展開しており、今後も引き続き地域との絆を大切にオイスカ活動を展開してまいります。



研修生も、きれいな花が咲くようにと心を込めて植樹しました